



第2学年通信 21/ 4/ 23 No3
タイトルデザイン
氏名

「野外活動日程変更」アンケートご協力ありがとうございました

昨年度から「野外活動」「修学旅行」については生徒・保護者のご意見を募り、立案していくことにより、より自分たちで創りあげる行事と位置付けてまいりました。今回の日程変更についても是非、ご意見を募り共に考えていきたいとの思いで行いました。結果、コロナ禍で先行き不透明な中、生徒・保護者の皆様方から貴重なご意見を賜り心から感謝申し上げます。

総じて言えるのは、「生徒に貴重な体験の場」を保証して欲しいということでした。また、様々な経験、立場からのご意見に気付かされることも多く、今後の計画に反映させてまいりたいと思います。

また、我々引率者に対するお心遣いの言葉も賜り、心強く思い今後の教育活動へのエネルギーとさせていただきます。重ねて感謝申し上げます。

保護者アンケート結果

アンケート項目	人数	割合
1 予定通り5月 地引網不可	26名	21%
2 6月に変更 計画通りの内容	73名	59%
3 9月以降に延期	22名	18%
その他	2名	2%

※ その他は「中止」等のご意見です。

以下の観点から日程を「6月に変更」したいと思います。

- ・5月に関しては、「宮城県独自の緊急事態宣言」「まん延等防止措置」解除予定の翌週であり、地元の歓迎を受けづらいこと。「地引網」ができないこと等を考慮しました。
- ・9月以降に関しては、「オリンピック・パラリンピック」で人の流通が激しい期間の後でどうなるのか不安でること。ワクチン接種がまだ高齢者までの可能性があること。企画を初めから立て直さなければならないこと等を考慮しました。
- ・6月に関しては、新型コロナの感染状況の悪化の懸念は払拭できませんが、生徒たちが望む活動ができる可能性が高いこと（天候の心配はいつの時期でもあるので）。生徒・保護者が最も心配している「中間テスト」は野活後の「3連休」の設置と「7月2日(金)」に期日を移すことで対応すること等を考慮しました。
- ・「生徒に貴重な体験の場」を保証し、最大限の教育効果が期待できるのは6月が1番適していると考えました。

今後も、「感染防止の徹底」と共に生活をしていかなければなりません。そのような中でも学びを止めず、がまんを強いられてきた生徒のためによりよい活動となるよう最善を尽くしてまいります。